

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
令和3年度第3回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和4年3月2日（水）14時00分～16時00分

2 開催場所

本部事務所大会議室2

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）  
委員 宮本 和之（公認会計士）  
委員 小林 順治（監事）  
委員 大橋 玲子（監事）

※外部委員はWeb会議システムにより参加

4 議題

- (1) 令和3年度契約（令和3年4月～令和3年12月）の事後点検について
- (2) その他

5 審議概要

(1) 令和3年度契約（令和3年4月～令和3年12月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件173件のうち、以下の9件（競争性のある契約6件、競争性のない随意契約3件）を抽出し、競争性の確保に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次の通りである。

◆契約件名：「スポーツくじオフィシャルサイト（情報サイト）に係る改修・構築業務（要件定義）」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	代理店証明等の証明書がない随意契約

（質問）代理店証明等の証明書がない理由は何か。

（回答）例えば海外製品を輸入する場合等、独占代理店証明が取得できる案件については証明書を取得しているが、本件についてはその類の案件ではなかったため、随意契約の理由の検証をもって随意契約を締結している。

（質問）変更契約により随意契約としなかった理由は何か。

（回答）本件は当初契約の契約期間内の業務ではないことから、新規の発注案件として随意契約を締結している。

（質問）随意契約の際の価格の妥当性はどのように担保しているのか。

（回答）随意契約においても事業者から見積書を徴取の上、予定価格を設定し事業者の提示額が妥当であるか確認を行っている。

（意見）随意契約により調達する際の代理店証明等の証明書の取得について、改めて検討

すること。

(回答) 承知した。

◆契約件名:「スポーツくじオフィシャルサイト(情報サイト)に係る改修・構築業務」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	97.81%	代理店証明等の証明書がない随意契約

(質問) 審議事項 2-①の要件定義の契約と本件契約を分けた理由は何か。

(回答) サイトの構築に当たっては、要件を定義していない状況では、構築に関しての仕様書や金額を設定することが難しいため発注を分けている。

(質問) 一般的な発注方法でないと思うが、どのように適切性を担保するのか。

(回答) 新規業務として立ち上げる場合は、別の事業者にも適切性を検証してもらう必要があるかと思うが、既に構築されているシステムのため、その必要性はないと判断した。

(意見) 落札率が高いため、今後は価格交渉をする等の手続きを検討した方が良い。

(回答) 承知した。

◆契約件名:「ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター新体操練習場における競技用物品(カーペット)の購入」

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	85.06%	不落随意契約

(質問) 落札者の辞退により、応札していたもう1者と契約を締結したとのことだが、その際の契約金額はどうか。

(回答) 応札していたもう1者に落札金額で契約できるか確認を取り、落札金額で契約を行った。

(意見) 特になし。

◆契約件名:「国立スポーツ科学センターフィットネスチェックスペシャリストの養成に係るeラーニング用研修教材及び研修動画の制作業務」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 予定価格の事前公表は行っているのか。

(回答) 行っていない。

(質問) 落札率が100%となっているがその要因は何か。

(回答) 応札業者から参考見積を徴取し予定価格を作成している。今回は応札業者が1者であったため、参考見積が複数徴取できなかったことが要因であると考えている。

(質問) 1者しか応札していないが、業務実績の要件等が厳しかったのではないか。

(回答) 事業者へのヒアリングでは実績の要件が厳しかったという回答があった。今後は実績要件の緩和や参加資格の等級拡大についても検討したい。

(意見) 1者応札とならないよう、実績要件等については気を付けて設定することで、競争性を高めるように努めてほしい。

(回答) 承知した。

◆契約件名:「ハイパフォーマンススポーツセンター国立スポーツ科学センタースポーツ科学部労働者派遣業務」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 公告時期を前倒しすることはできなかったのか。

(回答) 当初は職員として雇用することを想定して募集をしていたが、応募がなかったため、本件調達を実施することとなった。そのため、公告時期の早期化は難しい案件であったと考えている。

(質問) システムエンジニアの派遣業務とのことだが、今後も同様の業務が発生する見込みであるか。

(回答) 来年度も引き続き同様の業務があるが、同様に調達を行うかは再度検討する。

(質問) 1者応札となっているが、システム分野でスポーツ系の経験を持つ派遣会社がそもそも少ないとの理由によるものか。

(回答) 他社においてもそうだと思うが、IT系の人材不足により募集をかけてもなかなか集まらない状況である。

(意見) 特になし。

◆契約件名:「基幹システム構築及び運用保守」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	98.88%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 基幹システムの構築とは、部分改修となるのか、新規に入れ替えるのか。

(回答) 耐用年数が過ぎているので、新規に入れ替えるものである。

(質問) 事業者は従前と同じ事業者か。

(回答) 同じ事業者である。

(質問) 15社に資料配布し、1者のみの応札となったとのことだが、他者が応札できなかった要因は何か。

(回答) 事業者側の人材不足、半導体の不足から、他者が応札できなかったのではないかと考えている。

(質問) この調達に関連して、例えばハード部分などの関連調達はあるのか。

(回答) 今回の調達にサーバー類のハード部分は含まれるが、パソコンのリース契約は別途に調達している。

(意見) 関連調達があれば、今後参考として関連資料を添付してほしい。

(回答) 承知した。

◆契約件名:「インターネット回線及び拠点間VPN回線の調達」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	96.60%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 応札できなかった事業者へのヒアリングにおいて、仕様を満たせないとの回答が

あったとのことだが、その理由として考えられるのは何か。

(回答) JSCは全国に5支所あり、それを全て繋ぐ回線となると、全国をカバーすることになるので、それを安全・安定して提供するということになると、応札できる事業者が限られたのではないかと考える。

(質問) 山岳部にある国立登山研修所については本契約に含まれていないが、5支所がある大都市圏のみでも応札が難しかったのか。

(回答) 大都市圏のみであるため、他者も応札できるのではないかと考えていたが、結果的には難しかったようである。

(質問) 過年度の同様の調達において、今回の応札者以外と契約したことがあるのか。

(回答) 今回の応札者以外と契約したことはない。

(意見) 特になし。

◆契約件名:「国立スポーツ科学センター及びナショナルトレーニングセンター屋内トレーニングセンター・ウエストのトレーニング映像収録システムの更新」

契約種別	落札率	留意する点検事項
製造	95.26%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 8社に資料配布したとあるが、入札の公告時期をもっと前倒しにすれば、応札者が増えたのではないか。

(回答) 前倒しにすれば応札者は増えたかもしれないが、年度当初に予算が確保できておらず、前倒しをすることが難しかった。

(質問) 既存システムは今回の応札者であるか。

(回答) 今回の応札者である。しかしながら、今回は機械の入れ替えであったため、別の事業者も参入しやすいのではないかと考えていた。

(意見) できるだけ他者が参入しやすい要件とした方が良いため、公告期間を早める等検討してほしい。

(回答) 承知した。

◆契約件名:「大容量ストレージシステムの更新」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	90.91%	競争入札において応札者が1者のみ

(質問) 10社に資料配布とあるが、応札者は従前の事業者とは異なる事業者か。

(回答) 異なる事業者となった。

(質問) 従前のストレージシステムに問題があったのか。

(回答) 耐用年数の関係で更新する必要があった。また、今年度は東京オリンピック・パラリンピック競技大会も開催され、HPSCにはトップアスリートに関する相当分のデータが蓄積されてきたため、その増えたデータを移行する必要があった。

(質問) データを移す作業は手間であるし、セキュリティの確保が重要であると思うが、仕様書を見るとデータ移行に際して JSC からの要望の記載があまりないが、問題はなかったのか。

(回答) 事業者のやり易い方法があるので、仕様書にはあまり書き過ぎないようにしてい

た。

(質問) 情報漏洩等の重大なリスクについては慎重にすべきと思うが、事業者の意向に任せるのはいかがなものか。

(回答) セキュリティ面については、事業者と打ち合わせをし、しっかりと当センターから指導しているため問題はない。

(意見) 特になし。

## (2) その他

令和4年度の契約監視委員会の開催時期について、従前の実施時期から6月、7月、11月に変更して開催することについて了承を得た。

## 6 主な意見

- ・随意契約により調達する際の代理店証明等の証明書の取得について、改めて検討すること。
- ・随意契約においても落札率が高い場合は、価格交渉をする等の手続きを検討すること。
- ・1者応札とならないよう、実績要件等については気を付けて設定することで、競争性を高めるように努めること。
- ・今後個別審議案件に関連する調達があれば、参考として関連資料を添付すること。
- ・できるだけ他者が参入しやすいように、公告期間を早める等検討すること。